

重曹でナチュラルお掃除

こんにちは！

はるのクリーンサービスの木戸です。

今回は重曹を使ったナチュラルお掃除のお話です。

もうすっかりおなじみですが、ナチュラルなお掃除、エコ掃除に欠かせない重曹(じゅうそう)。

手軽に扱えてコスパも良く、しかもナチュラルで安心！

水に溶かして使われている方が多いと思いますが、重曹にはもっとお掃除をラクにする使い方がいろいろあります。

【そもそも重曹とは？】

「重曹」の正式名称は「重炭酸曹達(じゅうたんさんソーダ)」。

成分は炭酸水素ナトリウムで、弱アルカリ性です。

純度が高い順に「薬用」「食用」「工業用」の 3 種類に分かれています。毎日のお掃除には「食用」クラスをおススメしています。これなら小さいお子さんが万が一誤って口にしてみても安心です。

○重曹水の作り方・使い方

< 用意するもの >

- ・水(もしくは 42°C前後のお湯)・・・ 100ml
- ・重曹 …… 小さじ 1
- ・スプレーボトル

< 作り方 >

スプレーボトルに水を入れ、重曹を入れ、フタをしてよくふり混ぜたら完成。

※重曹水は一度に使い切れる量だけを作りましょう。それは水が腐るからです。

腐った重曹水を使っているのは家中を汚しているようなものですから。

弱アルカリ性の重曹水は、皮脂汚れや油汚れなど酸性の汚れを落とすのに最適です。

使うときは、汚れに吹きかけ、水でぬらした布やスポンジでこすり落とします。

< 使える場所 >

作業台等のキッチン周り、冷蔵庫の中、プラスチック製品、コーティングされた家具、キッチンやお風呂場の排水口周りなどです。

重曹水を使って掃除をした場所には重曹の成分が白く残るため、最後に必ず水拭きをしてください。

〈注意！使ってはいけない場所〉

万能洗剤のように思われている重曹水ですが、使ってはいけない場所があります。

畳を始め天然素材のものには使わないでください!!重曹はアルカリ性です。

い草の天然成分を黄ばませる性質があり、黒い斑点になって落ちない汚れになってしまいます。

他にも天然素材のものを傷める恐れがありますので使わないでください。

じゅうたんやラグ等の布製品に吹き付けると繊維の中に重曹成分が残ってしまいますので、粉のまま上からふり掛けて汚れを吸着させ、掃除機で吸い取ってください。

また、トイレやお風呂など、水周りの掃除には効果がありません。弱酸性の洗剤を使ってください。

【プロの重曹使い 1: 粉のまま使う】

粒子が細かいので「研磨剤」として使います。

シンクのカビ汚れ、食器類の茶渋、こびりつきなどをキレイに落とします。また、

キッチンの排水口に振りかければ、あのイヤなぬめりを溶かします。

さらに強くおススメする使い方は「入浴剤」です。お湯がなめらかになってお肌がツルツルになるそうです。入浴後にそのまま浴そうの掃除ができ、お湯を落とす時は排水口の掃除もしてくれて1石3鳥です。

使用量の目安はお湯 200 リットルに対して大さじ 2~3 杯、週に 1 回くらいがいいそうです。

肌に触れるので「薬用」の重曹を使ってください。肌が弱い方は量を調整したりしてくださいね♪

【プロの重曹使い 2: ペーストにして使う】

重曹に少量の水を加えてペーストにし、頑固な汚れを浮かして落とします。

＜ 用意するもの ＞

重曹 … 大さじ 2

水(もしくは 42℃前後のお湯)… 大さじ 1

＜ 作り方 ＞

小さな器に重曹を入れ、水(もしくはお湯)を加え、よく混ぜたら完成。

かなりドロツとしたペーストになります。キッチンのかびりついた調味料や油汚れ等、ちょっと頑固な汚れの上に乗せ、汚れが浮いてきたら拭き取ります。その後水拭きをしてください。

※注意！アルミなど、アルカリ性のものに長時間接触することで変質する恐れがあるものには使わないでください。使い終わった重曹ペーストは水を足してゆるめてから排水口に流してください。

まとめ

重曹を使うときは、掃除をした場所に重曹が残らないように仕上げの水拭きや吸い取りをしっかりとすること、スプレーやペーストを作る場合は必ず使い切る量で作ることが大切です。

重曹には脱臭・脱湿効果もあるので、靴箱の中に入れておくのもおススメです。
ミントなどのアロマオイルを垂らすと開けた時にさわやかな香りが広がるそうですよ。

では、また！